

建物の耐震性を確認

地震による被害から人命や財産を守るため、住宅の耐震性能をチェックしておきましょう。

一戸建ての場合

下記の項目を確認し、ひとつでも気になる項目があれば耐震診断を受けましょう。

チェック

昭和56年以降に建てられたものか

耐震基準が改正された昭和56年6月以前の建物は、現在よりも低い基準で建てられているので要注意です。

チェック

過去に災害に遭ったことがあるか

過去に地震・風水害・火災などの災害に見舞われたことのある住宅は、外見からは分からないダメージを受けている恐れがあります。

チェック

地形や地盤は固いか

埋め立て地、低湿地、造成で盛り土した場所、液状化の危険性がある砂質地盤は注意が必要です。

チェック

建物の基礎や土台はしっかりしているか

基礎の腐食やシロアリによる被害は危険です。特に台所や浴室などの水まわりは要注意。
また、煉瓦や軒先が波打っている住宅、建具のたてつけが悪い住宅は老朽化しているおそれがあります。

チェック

建物の形や壁の配置

複雑な形よりも正方形や長方形に近い家が比較的安全です。1階が駐車場で壁が少なかったり、ある一面がほとんど窓などの場合は、揺れに弱くなります。



地震に対する備えで重要な住宅の耐震化。支援制度を利用して、耐震診断や耐震改修を行いましょう。